

●三原城下町● 西町小路巡り

アヤメちゃんとタコ博士は、西町に散策に出掛けました。



この辺りは、古い家が多いね。お城の西側にあるから西町と名付けられたよ。



そうなんだ、お城が中心だったんですね。



この江戸時代の西町の部分が道なんだけど、東西に伸びる西国街道と呼ばれる大きい通りがあつて、それと交差するように小路がたくさんつくられたよ。それらの道沿いに、家や商店が建てられて、町家ができたんだ。地図の灰色の部分が町家だよ。



▲ 1709年(宝永6年)の三原西町絵図の一部



今と同じ位置にある道もあるんですか？



そうだよ、今も生活道路として使われているんだ。大善寺小路には、江戸時代に栄えた商家の別邸の庭が



▲ 特別公開の時に見ることが出来る舩木氏庭園

残っていて、今では舩木氏庭園として、江戸時代後期の庭のようすを見ることができるようよ。



その庭園、お父さんに見に行つたことがあります。きれいだつたな。



そして、同じ小路にある浄念寺は、「かもめの水兵さん」、「赤い帽子・白い帽子」



を作詞した童謡詩人の武内俊子さんが生まれた家なんだ。「♪並んだ水兵さん♪」っていう歌を聞いたことあるかな？



その歌、歌つたことがあります。三原のお寺で生まれた人なんですね。



この辺りにはお寺が多くなるんだ。小路の名前も、お寺や人、商店の名前から付けられていて、正法寺小路、彦助小路、魚屋小路などがあるよ。

面白いですね。他にどんな小路があるか探してみよう。